



※東日本では、異常な暑さも今週には落ち着くとの予報が出ています…。九州も一日も早くとの思いでいっぱいです。今朝の登校も、汗ダラダラでした。子供たちは偉い。

総括：「校長室からの課題」

学校だより第10号でお知らせしたとおり、夏休みに際して校長室から課題を出しました。

- 1 学習と生活、そのリズムの確立に挑むこと。
- 2 読書や体験を通して未知なることと出会うこと。
- 3 家族の一員として、はたらくこと。

ようやく、全提出者のレポートに目を通すことができました。それぞれにコメントも添えたので、十数時間かかってしまいました。指が痛い☹️…。でも、多くの生徒たちが、それぞれに思い出に残る夏休みを過ごせたようで、それは大変嬉しいことです。

さて、様々なことを考えました。まずは、下の表をご覧ください。

	1年生		2年生		3年生	
A	27人	35.1%	32人	30.1%	49人	49%
B	25人	32.4%	35人	33.1%	47人	47%
C	25人	32.4%	39人	36.7%	4人	4%
計	77人	87.5%	106人	94.6%	100人	94.3%

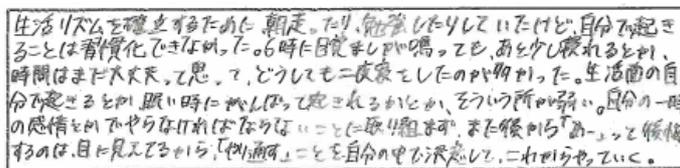
- *1 A:丁寧で具体的 B:おおむねよし C:記述が雑
- *2 各評価段階の%は、当該学年の全提出数に対する割合。また、「計」欄の%は、当該学年の在籍数に対する割合。

老眼鏡に加え、ルーペを使っても時間を要するほど、小さな字で丁寧に、自分の夏休みを振り返った生徒が数十名いました。その一方で、「C」の評価となった生徒も少なからずいました。上の注意書きから分かりますとおり、「記載内容」の評価ではなく、「丁寧に書けたか」の評価です。「校長室の課題」は通知表に成績が付くわけではありませんが、ここはひとつ、学校と家庭との具体的な連携・指導を模索したいと考えた次第です。

それは、「丁寧に取り組む力」の育成を意識することです。10世帯の家庭があれば10通りの方法があることでしょう。ただし、持ち物を大切に、ノートを大切に使う、字をきちんと書く、自分を大切に。「小学生でもあるまいし」ではないはず。義務教育段階で、今一度、「それがちゃんとできているか」確認したいものです。大人になれば分かります。丁寧に取り組める人は強いです。



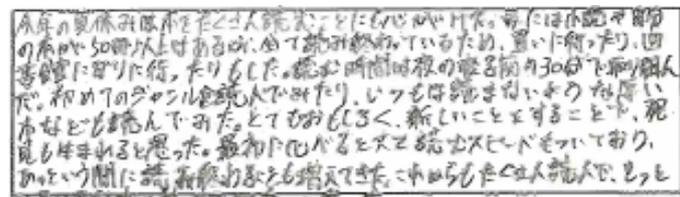
【課題1 学習と生活リズムの確立】



*3年3組 Aさんのレポートから

Aさんの記載と同様に、生活リズムの確立に苦戦した生徒が散見されました。一方で、これまでの夏休みと違い、明らかにリズム化できたと記述している3年生も多くいたことを嬉しく思います。

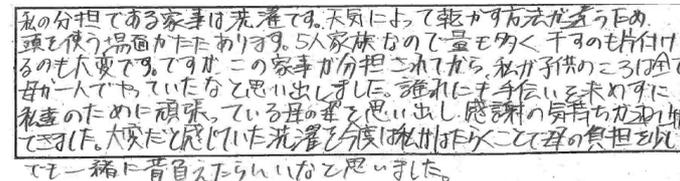
【課題2 未知なることとの出会い】



*3年1組 Bさんのレポートから

元々読書が好きなBさんは、新たなジャンルに挑戦したとの記載があります。明峰中生全体を総じてみれば、平均3冊程度といったところでしょうか。無理なく、読書ができればよいですね。家族との自然体験の記述も多く見られたところです。

【課題3 家族の一員としてのはたらき】



*3年2組 Cさんのレポートから

この項目については、1位洗濯物、2位お風呂掃除、3位皿洗いとなっています。料理に挑戦した生徒もいました。感心です。また、Cさんと同様、家族の方への感謝に心が向いた生徒も数多くいたことを嬉しく思います。

ボランティアの犬塚さんが、9月6日に活けてくださいました。美しい花が、来校される方に、温かさを届けてくれます。

